

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

公告方法 当社のWebサイトに掲載します。  
(<http://www.kureha.co.jp/ir/koukoku.htm>)  
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

定時株主総会 6月

株主確定基準日 ・定時株主総会 3月31日  
・期末配当 3月31日  
・中間配当 9月30日  
・その他必要がある時は、取締役会の決議によってあらかじめ公告します。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1-2-1  
みずほ信託銀行株式会社

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 氏名、住所などのご変更</li> <li>● 単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>● 配当金の受け取り方法、振込先のご変更</li> </ul>	お取引の証券会社にお問い合わせください。	*みずほ信託銀行証券代行部 代行部にお問い合わせください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 郵便物の発送・返戻に関するお問い合わせ</li> <li>● 未払い配当金に関するご照会</li> </ul>	*みずほ信託銀行証券代行部 にお問い合わせください。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特別口座から証券会社口座への振替え手続き</li> </ul>		

\*みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル：0120-288-324  
〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4  
ご来店窓口 みずほ信託銀行 全国本支店 および みずほインベスターズ証券 全国本支店  
未払い配当金に関するご照会については、みずほ銀行全国本支店でも取扱っています。

## ホームページのご案内

<http://www.kureha.co.jp/>

当社Webサイトに「個人投資家のみなさまへ」を開設しております。  
身近にあるクレハ製品や業績の概況についてご説明しておりますので、ぜひご覧ください。



「TOPページ」  
↓  
「投資家情報」  
↓  
「個人投資家のみなさまへ」  
<http://www.kureha.co.jp/ir/personal/index.html>  
からご覧ください。

# クレハ レポート

## 第99期 期末報告書

(2011年4月1日～2012年3月31日)

証券コード：4023

KUREHA

Advanced Materials



Specialty Chemicals



# KUREHA REPORT

Specialty Plastics



Construction Related & Others



株式会社クレハ  
KUREHA CORPORATION

株式会社クレハ  
KUREHA CORPORATION

## 株主の皆様へ



代表取締役社長  
岩崎 隆夫

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第99期期末(2011年4月1日から2012年3月31日まで)の「クレハ レポート」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当期のわが国経済は、東日本大震災および福島原子力発電所事故による生産活動の停滞に加え、欧州債務危機の拡大、中国の金融引締め、タイの洪水等による輸出の鈍化、歴史的な円高による採算性悪化等がありました。震災からの復興の動きもあり、期末に向けて景気は持ち直し傾向が見られました。

当社グループはこのような状況のもと、東日本大震災の余震等により被害を受けた主力工場の復旧、生産の回復に注力し、また、一層の経費削減にも努めた結果、当期の連結売上高は1,283億58百万円、営業利益は84億72百万円、経常利益は78億67百万円となりました。当期純利益は、東日本大震災に伴う災害損失37億97百万円等を計上いたしましたが、14億60百万円となりました。

また、当期の配当金は、当初予定の通り、1株につき年間10円とさせていただきます。

2012年度は、復興需要、サプライチェーンの回復による生産の正常化等のプラス要因はあるものの、欧州債務問題、電力不足、貿易収支の悪化等が懸念され、経済の先行きは不透明な状況です。当社グループは、新たに策定した「中期経営計画GROW GLOBALLY-II」で「競争優位にある既存事業の強みを更に伸ばしながら、新規事業を育成・拡大する」とした事業戦略に注力し、企業価値向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2012年6月

### 利益配分方針

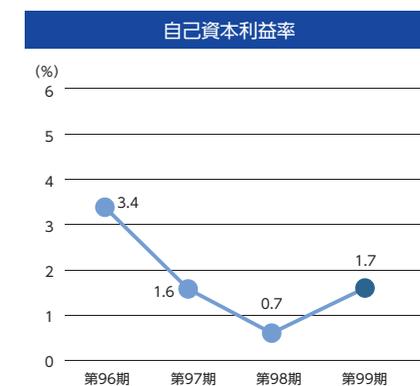
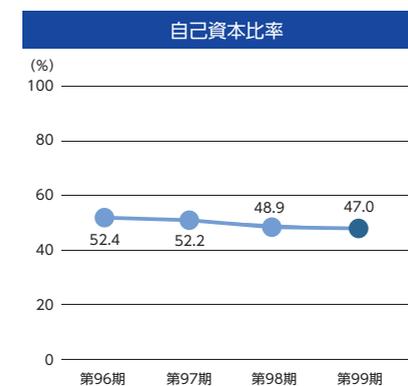
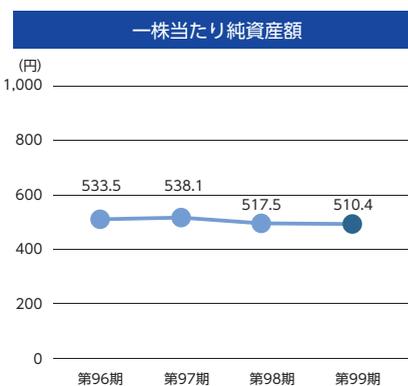
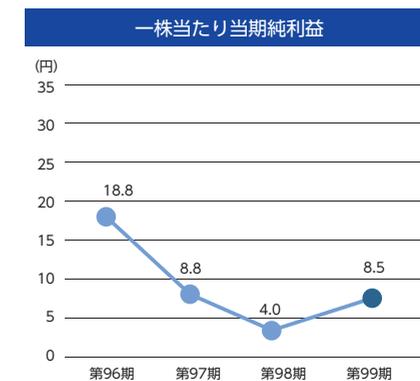
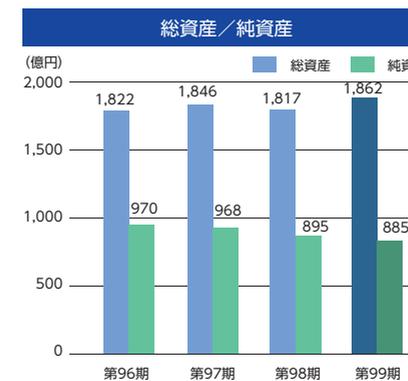
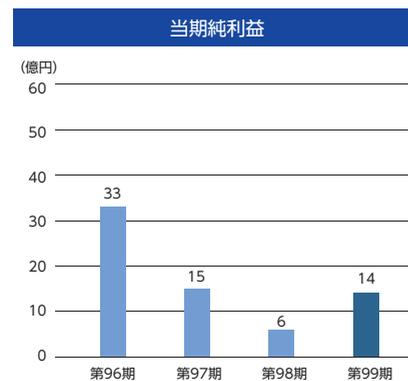
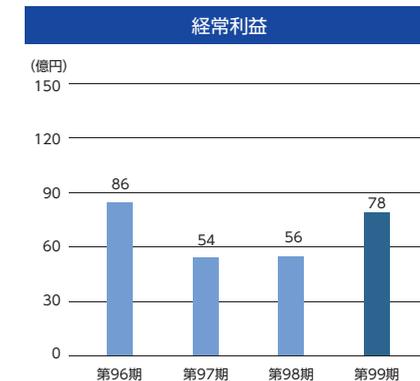
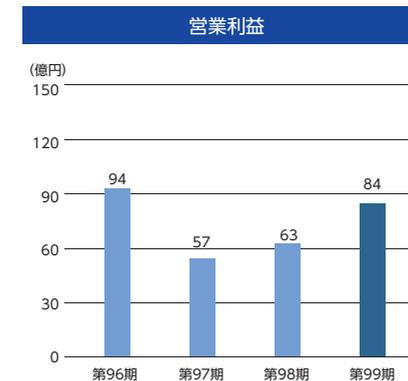
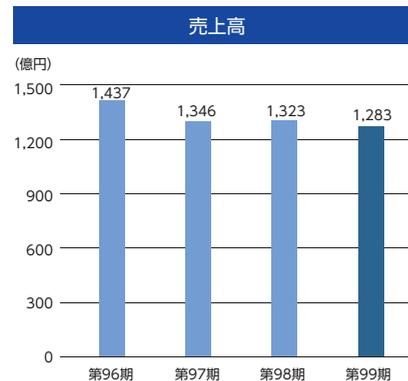
当社は、利益を向上させ、資産効率を高めることにより企業価値を向上させることが株主の皆様の利益につながるものと考えています。利益の配分については、業績変動の影響はあるものの、安定的・継続的な配当を実施することが肝要であり、その上で企業体質の強化・将来の事業展開に備えた内部留保に充当することを基本方針としています。

### 1株当たりの配当金

	(円)			
	96期	97期	98期	99期
中間	5	5	5	5
期末	5	5	5	5
年間	10	10	10	10

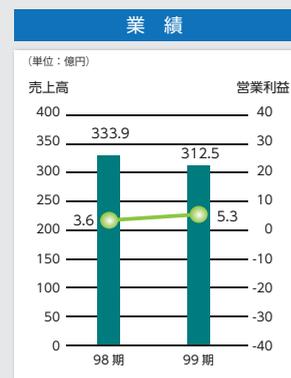
## 財務ハイライト

## FINANCIAL HIGHLIGHTS



■ 売上高 ● 営業利益

## 機能製品事業



主要分野	概況
機能樹脂	PPS樹脂は自動車用途の需要が増加し、米国での合併事業の業績も回復しました。ふっ化ビニリデン樹脂は工業用素材用途の需要が低迷した一方、リチウムイオン二次電池用バインダー用途の需要が伸び、この分野は増収増益となりました。
炭素製品	電池用負極材用途は輸出が減少し、太陽電池向けシリコン製造装置用断熱材用途の需要は期後半に陰りがみられましたが、設備投資の償却費負担が減少し、この分野は減収増益となりました。

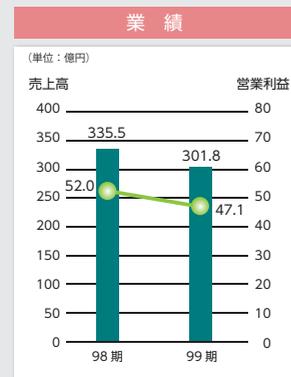
主な連結対象会社(全14社)

クレハ エクステック(株)  
日本エクストロン(株)  
(株)クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン  
クレハ GmbH(ドイツ)  
クレハ・アメリカInc.[アメリカ]  
クレハ・ピージーエー LLC[アメリカ]  
上海呉羽化学有限公司[中国]  
呉羽(中国)投資有限公司[中国]  
呉羽(常熟)ふっ素材料有限公司[中国]  
その他 5社

米国合併事業(PPS樹脂の製造・販売)

特殊炭素材料(電池用負極材用途)

## 化学製品事業

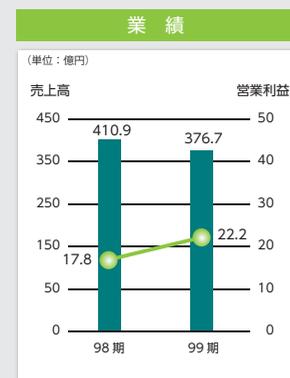


主要分野	概況
医薬・農業	農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」は輸出が増加しました。抗悪性腫瘍剤「クレスチン」、慢性腎不全用剤「クレメジン」の売上は減少し、この分野は減益となりました。
工業薬品	か性ソーダ・塩酸等の無機薬品類とクロルベンゼン類は震災の影響により一部に需要回復の遅れがあり、この分野は減収減益となりました。

農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」

慢性腎不全用剤「クレメジン」

## 樹脂製品事業



主要分野	概況
コンシューマー・グッズ	「NEWクレラップ」は震災の影響により、原料製造工場の操業の回復に遅れがありましたが、期後半から生産・販売ともに上向き、また、ふっ化ビニリデン釣糸「シーガー」は売上げが増加し、この分野は増益となりました。
業務用食品包装材	塩化ビニリデン・フィルム、熱収縮多層フィルムの売上げは減少し、多層ボトルの売上げは前期並みとなりました。欧州子会社は材料費が高騰しましたが、クレハ・ベトナムは稼働が上昇し、この分野は増益となりました。
その他	中国向けの塩化ビニリデン・コンパウンドは製造工場の操業の回復に時間を要し、販売数量が減少しましたが、価格は上昇し、増益となりました。

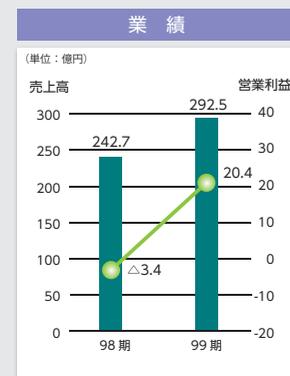
主な連結対象会社(全7社)

クレハ合繊(株) クレハロン・インダストリー B.V.[オランダ] クレハ・ヨーロッパB.V.[オランダ] クレハ・ベトナムCo.,Ltd.[ベトナム]	その他 3社 (持分法適用会社) 南通匯羽豊新材料有限公司[中国]
---	---

家庭用ラップ「NEWクレラップ」

クレハ・ベトナムCo.,Ltd.  
(塩化ビニリデン・フィルム製造・販売会社)

## 建設関連およびその他関連事業



主要分野	概況
建設、エンジニアリング	エンジニアリング事業での大型案件の受注はなかったものの、震災により前期から繰り越された工事や復旧・復興関連工事により売上げは増加し、経費削減や採算改善に努め、営業損失から営業利益となりました。
運送、環境	運送事業は期後半で持ち直すものの、期前半で取引先企業が被災した影響により、減収減益となりました。環境事業は震災による廃棄物処理が増加し、かながわ事業所の受注量も増え、増収増益となりました。

主な連結対象会社(全17社)

クレハ錦建設(株) (株)クレハエンジニアリング (株)クレハ環境 (株)クレハ分析センター クレハ運輸(株)	(株)クレハトレーディング クレハサービス(株) クレハスタッフサービス(株) その他 9社
---	---

建設事業(災害復旧工事)

環境事業(かながわ事業所)

■ 売上高 ● 営業利益

2012年6月26日  
東京都中央区日本橋浜町 3-3-2

## 株式会社クレハ

代表取締役社長 岩崎隆夫

### 第99回 定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、6月26日開催の第99回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

敬 具

### 報告事項

1. 第99期(2011年4月1日から2012年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第99期(2011年4月1日から2012年3月31日まで)計算書類報告の件

### 決議事項

- 第1号議案 取締役9名選任の件  
本件は、原案のとおり承認可決され、岩崎隆夫、小林 豊、鈴木直哉、宗像敬吉、須能利和、佐川 正、斉藤邦彦、高橋 武の8名が再選、重任し、松尾修介が新たに選任、就任いたしました。
- 第2号議案 監査役2名選任の件  
本件は、原案のとおり承認可決され、山口治紀、佐藤光男の2名が新たに選任、就任いたしました。
- 第3号議案 取締役に対する賞与支給の件  
本件は、原案のとおり承認可決され、当期の業績等を勘案し、業績連動賞与として、当期末の取締役9名に対し、総額24,000千円(うち社外取締役2名に対し総額1,000千円)の役員賞与を支給いたします。なお、各取締役に対する配分等の決定は、取締役会にて決議いたします。

## 新中期経営計画「中計GG-II」

GROW GLOBALLY-II

### グローバル展開を加速し、投資回収を図りながら、増収・増益を目指します。

当社は、2012年度から2015年度までの4ヶ年の新中期経営計画として「中期経営計画GROW GLOBALLY-II」(略称「中計GG-II」)を策定し、2012年1月23日に発表しました。2012年度を最終年度とする「中期経営計画 GROW GLOBALLY」(略称「中計GG」)を振り返り、新たな中期経営計画である「中計GG-II」についてご報告します。

### 1 「中期経営計画GROW GLOBALLY」の振り返り

当社は2008年度から2012年度を対象とした「中計GG」で“既存事業のグローバル展開による利益拡大”と“新規事業の着実な育成と拡大”を掲げ、大きく増収・増益を目指してまいりました。しかしながら、当初の定量計画は、策定時には想定もしていなかった、2008年秋のリーマンショックとそれに伴う世界経済の低迷や為替の変動、更に昨年の中東大震災も重なり当初計画値から大きく外れてしまいました。

### 2 「中期経営計画GROW GLOBALLY-II」における経営目標

「中計GG」では当初の定量計画から乖離が生じたものの、その考え方や成長ドライバーとして掲げた事業の方向性は「中計GG-II」においても変更はありません。競争優位にある既存事業および新規事業において、グローバル展開を推進・加速し、投資回収を図りながら、増収・増益を目指します。同時に、グローバル化と技術力の基盤となる人財の育成・確保を行うとともに、経済・社会環境の変化に機動的に対応しながら、地球環境に配慮した事業運営を行い、企業価値の向上に努めてまいります。

### 3 成長ドライバーとしての重点事業

#### 【機能製品】

- ① 機能樹脂～PPS樹脂のグローバル供給体制の確立と太陽電池用保護フィルム向けふっ化ビニリデン樹脂の拡大
- ② 電池材料～車載および定置用リチウムイオン電池用負極材とバインダー用ふっ化ビニリデン樹脂の拡大
- ③ 炭素繊維～太陽電池向けシリコン製造装置用断熱材の拡大
- ④ PGA(ポリグリコール酸)樹脂  
～シェールガス・石油掘削用材料での拡大と新規用途開発

#### 【化学製品】

- ① 医薬品～慢性腎不全用剤「クレメジン」の欧米展開による拡大
- ② 農薬～農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」の拡大

#### 【樹脂製品】

- ① 家庭用ラップ～「NEWクレラップ」のブランド力の向上
- ② 業務用食品包装材～「クレハロン」の競争力強化とアジアでの拡販

#### 【その他】

- ① クレハ環境での産業廃棄物処理事業の拡大

「中計GG-II」 売上高・営業利益



## いわき事業所 紹介

「中計GG-II」では、いわき事業所を世界各地の工場のマザー工場として、隣接する複数の研究所を中核研究機関と位置づけ、地域との共生を図りながら、価値あるモノづくりと海外展開を進めてまいります。

150

敷地面積112万m<sup>2</sup>。サッカーグラウンド150個分を有する生産技術集積型事業所です。

1934

株式会社クレハの前身である昭和人絹が設立された1934年に、いわき事業所は操業を開始しました。

45,000

阿武隈山系に源を発する鮫川と四時川を供給源とする豊富な工業用水を利用。また、最大出力45,000KWの自家発電設備を有しています。

950

いわき事業所に働く人の数は、製造、研究、事務、保安などを含め、総勢約950人。

100

いわき事業所で生産している製品は、工業用原料の無機・有機薬品、医薬品、電池材料、炭素製品やエンジニアリングプラスチックなど、100種類以上。

### 設備

いわき事業所には約20の製造工場が集まっています。機能樹脂、炭素製品、医薬品、そして食品包装材の原料となる塩化ビニリデン樹脂のプラントなどが並び、工場群を支える設備はほとんど独自技術で作り上げてきました。さらに事業所内の発電所に加え、産業廃棄物を処理する株式会社クレハ環境が隣接するなど、効率よく、環境に配慮した理想的な生産拠点を構築しています。



PPS 樹脂プラント

(株)クレハ環境

### 研究開発

「技術のクレハ」を支えているのが、研究開発部門。いわき事業所内では、総合研究所、農業研究所、新材料研究所、特別研究室の研究者が、研究開発に取り組んでいます。研究者は事業部門や製造部門と連携し、お客様のニーズを肌で感じながら、新たなスペシャリティ製品の開発を行っています。



総合研究所



事業所正門

## Topics

### いっしょに笑顔。～東日本応援プロジェクト～

当社は東日本大震災で被害を受けたエリアの「農業の復興」と「食の再生」を支援する『いっしょに笑顔。東日本応援プロジェクト』をすすめています。

「NEWクレラップ」の売上の一部を、被災地支援のプロジェクトに寄付し、継続的に復興支援を続けてまいります。

クレハだけの力は限られていますが、皆様といっしょに取り組むことで、きっと多くの笑顔を生み出せると信じています。

いっしょに笑顔。  
東日本応援プロジェクト スペシャルサイト  
<http://egaonippon.com/>



「農業再生プロジェクト」では、農作物の安全・安心のための新しい保証システムをつくり、福島農業に元気を呼び戻します。



「菜の花プロジェクト」では、除塩につながる塩害に強い菜の花の育種に取り組んでいます。

### 新製品

#### 「フライパン用 ホイルシートワイド」

ホイルシートにはシリコン樹脂加工がされており、フライパンに敷いて調理すると焦げつきやすい料理もきれいに仕上がります。後片付けも簡単。油を使わないヘルシーメニューの調理にもピッタリです。

調理がますます楽しくなる「フライパン用ホイルシート」に30センチ幅のワイドサイズが新たに加わりました。



### ふっ化ビニリデン樹脂新工場を中国で起工

2012年6月7日、中国・江蘇省常熟市の呉羽(常熟)ふっ素材料有限公司において、ふっ化ビニリデン樹脂新工場の起工式が挙行了されました。

ふっ化ビニリデン樹脂「KFポリマー」は、エコカーや電力貯蔵用定置型電源などのリチウムイオン電池用途や水処理膜などの一般産業用途で、需要の拡大が見込まれます。

当社は、昨年7月に生産能力を増強したいわき事業所と中国ふっ化ビニリデン新工場の建設により、安定的な供給体制を構築していきます。



完成予想図 (2014年春稼働予定)

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期(第98期) 2011年3月31日現在	当期(第99期) 2012年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	64,161	66,821
固定資産	117,591	119,402
有形固定資産	83,917	87,118
無形固定資産	868	840
投資その他資産	32,805	31,443
<b>① 資産合計</b>	<b>181,753</b>	<b>186,223</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	49,051	57,316
固定負債	43,200	40,352
負債合計	92,252	97,669
<b>純資産の部</b>		
株主資本	89,310	89,051
資本金	12,460	12,460
資本剰余金	9,456	9,149
利益剰余金	71,935	71,988
自己株式	△4,542	△4,546
その他の包括利益累計額	△477	△1,444
新株予約権	64	82
少数株主持分	603	864
純資産合計	89,500	88,554
<b>① 負債・純資産合計</b>	<b>181,753</b>	<b>186,223</b>

① 資産合計 / 負債・純資産合計

震災後の売上げ・生産減からの回復により売上債権・棚卸資産・仕入債務が増加しました。海外生産拠点を含む高水準の設備投資継続により有形固定資産、有利子負債が増加しました。

(単独の財務諸表は、当社Webサイト、「TOPページ」→「投資家情報」→「IR資料室」→「有価証券報告書」をご参照ください。)

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期(第98期) 2010年4月1日から 2011年3月31日まで	当期(第99期) 2011年4月1日から 2012年3月31日まで
売上高	132,309	128,358
売上原価	98,674	93,368
売上総利益	33,634	34,990
販売費および一般管理費	27,284	26,518
営業利益	6,350	8,472
営業外収益	1,331	1,189
営業外費用	2,043	1,794
経常利益	5,638	7,867
特別利益	708	1,145
特別損失	4,590	5,824
税金等調整前当期純利益	1,757	3,188
当期純利益	692	1,460

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期(第98期) 2010年4月1日から 2011年3月31日まで	当期(第99期) 2011年4月1日から 2012年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,509	12,144
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,431	△14,169
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	2,720	370
現金および現金同等物に係る換算差額	△264	△285
現金および現金同等物の増減額(△は減少)	3,532	△1,938
現金および現金同等物の期首残高	7,213	10,746
新規連結に伴う現金および現金同等物の増加額	-	50
現金および現金同等物の期末残高	10,746	8,857

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

高水準の設備投資により支出が増加しました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の調達減少、コマーシャル・ペーパーの償還により収入が減少しました。

会社の概要 (2012年3月31日現在)

商号 株式会社クレハ  
 英文社名 KUREHA CORPORATION  
 本店 東京都中央区日本橋浜町3-3-2  
 設立 1944年6月21日  
 資本金 12,460百万円  
 グループ従業員数 4,032名(単独:1,628名)  
 支店 大阪支店  
 営業所 名古屋営業所、福岡営業所、仙台営業所  
 事業所 いわき事業所(福島県いわき市)  
 樹脂加工事業所(茨城県小美玉市、兵庫県丹波市)  
 研究所 総合研究所、農業研究所、新材料研究所(福島県いわき市)  
 生物医学研究所(東京都新宿区)  
 特別研究室(福島県いわき市、茨城県小美玉市)  
 PGA研究所、加工技術センター(茨城県小美玉市)

取締役・監査役・執行役員 (2012年6月26日現在)

代表取締役社長 岩崎 隆夫  
 代表取締役副社長 小林 直哉  
 代表取締役専務執行役員 鈴木 直哉  
 取締役専務執行役員 宗像 敬吉  
 取締役専務執行役員 須能 則和  
 取締役常務執行役員 佐川 正介  
 取締役常務執行役員 松尾 修彦  
 独立社外取締役 斉藤 邦彦  
 独立社外取締役 高橋 武

常勤監査役 清輔 洋一  
 常勤社外監査役 山口 治紀  
 常勤監査役 佐藤 光男  
 社外監査役 北村 大

専務執行役員 萩野 弘二  
 専務執行役員 谷 秀雄  
 常務執行役員 紫 由城  
 常務執行役員 福 沢 直樹  
 常務執行役員 山本 孝士  
 執行役員 小口 義春  
 執行役員 野田 義夫  
 執行役員 吉田 徹  
 執行役員 齊藤 宏太

株式の状況 (2012年3月31日現在)

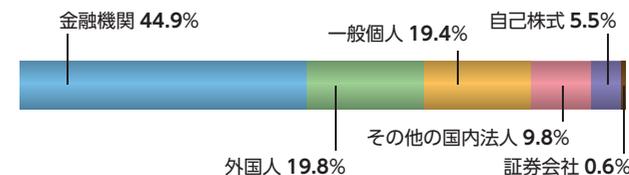
発行可能株式総数 600,000,000株  
 発行済株式の総数 181,683,909株  
 株主数 15,533名

大株主の状況 (2012年3月31日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	13,746	8.0
東京海上日動火災保険株式会社	10,696	6.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	9,357	5.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,864	4.6
第一三共株式会社	5,830	3.4
野村信託銀行株式会社(投信口)	4,532	2.6
株式会社みずほコーポレート銀行	4,000	2.3
ジユニパー(サウジアラビア)	3,725	2.2
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	3,388	2.0
エスエル オムニパス アカウント(イギリス)	2,664	1.6
みずほ信託銀行株式会社	2,664	1.6

注) 当社は自己株式10,031千株を保有しておりますが、上記大株主から除いています。また、持株比率は自己株式を控除して計算しています。

株式の所有者別構成比 (2012年3月31日現在)



株価の推移

